

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 12 月 21 日作成)

小委員会名	大振幅予測地震動に対する耐震設計法検討小委員会	主 査 名：壇 一 男 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)	委員長名：緑川光正 主 査 名：宮本裕司
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	<p>大振幅地震動に対し、その大きさを評価できる指標と建物の終局耐震性能を評価できる指標を検討する。</p> <p>初年度：・地震荷重小委員会で提示された課題の整理 ・東北地方太平洋沖地震の地震動と建物被害の検討</p> <p>2 年度：・南海トラフの三連動地震の地震動の試算と建物の応答解析</p> <p>3 年度：・南海トラフの三連動地震の地震動の試算と建物の応答解析 ・『建築物荷重指針・同解説』の構成の勉強会</p> <p>4 年度：・上町断層地震に関する成果の指針化 ・南海トラフの三連動地震に関する成果の指針化</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：壇一男 (清水建設) 幹事：石原直 (建築研究所)、土肥博 (NTTファシリティーズ) 委員：石井透 (清水建設)、上林宏敏 (京都大学)、岡野創 (小堀鐸二研究所)、永野正行 (東京理科大学)、西澤崇雄 (日建設計)、林康裕 (京都大学)、司宏俊 (東京大学)、土方勝一郎 (芝浦工業大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	南海トラフ巨大地震に対する耐震設計検討WG：南海トラフの巨大地震を対象に、既存建物および現行法で設計された建物の耐震安全性を評価する。	
2016 年度予算	340,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 免震構造小委員会主催シンポジウム「巨大地震への備えを目指す免震構造の取り組み」(2017年1月23日)にて、当小委員会より1件の発表を行った。
委員会活動の問題点・課題	1. 荷重指針への展開は不十分であったため、来年度以降も継続する。 2. マグニチュード 9 クラスのプレート境界地震の震源モデルに関する新しい知見があるため、それを取り入れる必要がある。